祝１５０周年　東彼杵町立彼杵小学校　学校だより
校訓：「強く　正しく　朗らかに」
学校教育目標：「ふるさとに愛着を持ち、心豊かにたくましく生きる彼杵っ子」
今年の合い言葉「もっと！よく学び　よく遊べ」
令和５年６月１２日
NO. １１
校長　白水　聡

１００万回生きたねこ

６月８日、東彼杵町総合会館のホールで、長崎県青少年劇場が開かれました。演題は劇団「たんぽぽ」の皆さんによるミュージカル「１００万回生きたねこ」です。

東彼杵町の３校の児童生徒が集まり、約１時間の演劇を鑑賞しました。子供たちにも馴染みのあるお話でしたので、興味深く目を輝かせて見ている姿が印象的でした。「本を読んだことあります！」という子も多かったです。

音響や照明のタイミング、言葉の伝え方や演じ方など、至る所にプロの技と実績の深さを感じるミュージカルでした。

「本物との出会いには心を豊かにする力がある。」という言葉があります。子供たちの感性を育む、とてもよい時間が過ごせました。東彼杵町教育委員会の皆様、どうもありがとうございました！

黄色い傘をいただきました

６月９日、「JA ながさき県央」より、傘を寄贈していただきました。写真は贈呈式の一枚です。

毎年、小学１年生全員に黄色い傘をプレゼントしてくださっています。この取組は実は２０年も前から続いてきたとのことで、以前はランドセルカバーや防犯ブザーを、ここ５年は学童傘を贈られているとのことでした。

この傘は、一部透明の部分があり、傘の中からでも周りが見えるように工夫されています。交通事故防止に向けて、大切に使わせていただきます。ありがとうございました！

研究授業

毎年、本校では校内研修を行い、授業のあり方について職員同士で話し合いを重ねています。今年度の研究主任は５年の太田先生です。さっそく自ら研究授業を行い、算数の学習の様子を全職員に公開しました。

「ICT 機器の活用によって学習をよりわかりやすく、意欲が高まるものにしよう」とか、「算数では問題場面を子供たちにしっかりと捉えさせれば、よりよい自力解決につながるのではないか？」という方向性で今年度の研究を進めていきます。

この日、５年１組の子供たちは、算数の学習に難しさを感じながらも、一生懸命取り組んでいました。タブレットも上手に活用できました。この積み重ねがきっと学力向上、さらには、生きる力を育むことにつながるものと信じます。